

平成 29 年度 東京都精度管理評価事業調査票（平成 27 年度および 28 年度実施分）の
記入方法について

今回からの変更点

1 実施状況調査票の回答方法の変更

○H28 まで 前年度の回答内容からの変更の有無を回答し、変更有の場合にのみ実施状況を回答

↓

○H29 から 指針内検診の検診方法や対象年齢、受診間隔を選択肢で回答。指針外検診については検診方法の一部は選択肢での回答とするが、その他の情報は記述式で回答

2 都チェックリスト調査の廃止

○国立がんセンターが行っている「検診実施体制整備に関する調査」結果を再集計・公表することで、都チェックリスト調査に代えるため、「都チェックリスト調査」は廃止

3 結果入力シートの変更・追加

○調査対象年度を従来の前年度から前々年度に変更する(H29 調査→H27 検診実施分の数値)。

○指針外の対象年齢への検診の実態を把握するため、対象外年齢の欄を新設するとともに、指針外の検査方法による検診（ABC 検診、前立腺がん検診など）の実態を把握するため新たな調査票を追加。

○「がんであった者」の人数は転移性がんの患者数を除外して記載。

1 調査全体

○本調査は平成 27 年度及び 28 年度に区市町村で実施したがん検診についての調査です。

○調査内容は、『実施状況調査票』『結果入力シート』の 2 種類です。

2 実施状況調査票（平成 28 年度実施分）

○「実施状況調査票」の各項目は、健康増進法に基づくがん検診かどうかに関わらず、公費を支出して検査を行っているものについてご回答ください。

○胃・肺・大腸・子宮頸・乳・その他のがんにおいて、平成 28 年度に実施された検診について該当する項目を選択、指針外対象年齢等についてはご記入ください。

○平成 27 年度の検診実施状況については、東京都がん検診支援サイト「受けよう！がん検診」→<区市町村別の状況> がん検診の実施状況 区市町村別がん検診実施状況一覧

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/pdf/2016_2/jissijyoukyou.pdf をご覧ください。

○「東京都 がん検診の精度管理のための技術的指針」平成 28 年版（白色バインダー、青色表紙）も必要に応じてご参照下さい。

3 結果入力シート（平成 27 年度実施分）

【指針内検診用シート】

○各がん種それぞれに、特別区、市町村、島しょの 3 シートがあります。該当するシートにのみご回答ください。

○実施年度時点の国の指針に基づく検査方法についてのみご記入ください。

- 青い太線の枠内**に、区市町村名、男女別の集計結果をご記入ください。**赤い枠内**には記載の年齢を対象に検診を行っている場合に限り御記入ください。シートは、住基台帳人口の欄に該当する人口数を入れると自動的に対象人口率により按分された対象者数が細い黒線の欄に表示されます。**(青色の太枠、赤い枠内以外は自動的に表示されるため、記載は不要です。)**

※「住基台帳人口」については、平成 27 年 4 月 1 日時点の数をお答え下さい。

- 「がんであった者」の人数には転移性がんの患者数を含めないでください。**
- 国の補助事業（クーポン事業）を実施している部位については、クーポン事業の実施の有無についての【問】にチェックをお願いします。クーポン事業を「行っていた」にチェックをされた場合には、クーポン事業での受診者について精検以降の状況把握の有無についてもチェックをお願いします。
- クーポン事業を実施している場合には、クーポンによる受診者のデータも含めて計上下さい。
- 用語については「がん検診精度管理向上の手引き～がんによる死亡率減少を目指して～（平成 25 年 3 月）」の p.8～p.13 をご参照ください。
- <精検未受診>の定義は要精検者が精検機関に行かなかったことが判明しているものです。また<精検結果未把握>の定義は精検受診の有無がわからないもの、および、精検結果がわからないもの全てです。精検受診・未受診以外のものは全て未把握に該当します。また、精検受診したとしても、結果の報告を受けていなければ「未把握」に該当します。
- 入力シートの外に、5 歳階級別のプロセス指標の自動計算シートを掲載しています。必要に応じて区市町村様でご活用ください。なお、5 歳階級別の受診率は、年齢階級によらない対象人口率を用いていることから、参考値としてお取扱いください。

【指針外検診用シート】

- シートの種類は 1 種類です。複数の種類の指針外検診を行っている場合はシートを複製してご使用ください。
- 緑の太線の枠内**は、部位、検査方法を選択してください。該当の検査方法がない場合は、その他を選択し枠の右側に直接記入してください。**青い太線の枠内**に、区市町村名、男女別の集計結果をご記入ください。**赤い枠内**は、対象年齢が指定されている場合に限り御記入ください。その場合、住基台帳人口は対象年齢のもののみをご記入ください。**(緑の太線、青色の太枠、赤い枠内以外は自動的に表示されるため、記載は不要です。)**
- ※「住基台帳人口」については、平成 27 年 4 月 1 日時点の数をお答え下さい。
- ペプシノゲン検査、ヘリコバクターピロリ抗体検査、HPV 検査などのリスク検査においては、“がんであった者” “精検未受診者数” “精検結果未把握者数”の記載の必要はありません。

4 問い合わせ先

- このほか、本調査についての確認や問い合わせは、下記までお願いいたします。

※確認のため、しばらく（数日）お時間を頂く場合がありますのでご了承下さい。

東京都がん検診センター 保健指導係
 担当： 丹羽・横山・蒲野
 電話： 042-327-0201
 メール： seidokanri@tokyo-cdc.jp

精度管理評価事業「よくある質問 Q&A」

Q1：肺がん検診の要精検者の判定基準とはなんですか？

A：胸部 X 線検査判定の E、および喀痰細胞診判定の D、E に該当する者です。胸部 X 線検査判定の D（＝肺がん以外の疾患を疑う者）は含まれませんのでご注意ください。

Q2：子宮頸がん検診の“がんであった者”は、CIN 3 と診断された者を含みますか？

A：CIN 3 には高度異形成～頸部上皮内癌まで含まれますが“がんであった者”には含みません。子宮頸がん検診においては、微小浸潤癌以上のものを“がんであった者”に計上してください。

Q3：大腸がん検診の要精検者が医療機関を受診したところ、便潜血検査の再検をして陰性だったため「異常なし」と報告がきました。精検受診者としてカウントして良いですか？

A：便潜血検査の再検は、精密検査とはみなしません。これで終了したケースについては「精密検査未受診者」に計上してください。

Q4：精密検査結果を把握するため、本人へアンケートを送付しましたが返信がありませんでした。「精密検査未受診者」として計上して良いですか？

A：精密検査未把握者として計上してください。

「精密検査未受診者」とは、アンケートや電話により要精検者が精密検査を受診していないことが判明している場合、または不適切な精検方法が実施された場合です。

Q5：“がんであった者”に転移性がんは含みますか？

A：今回調査より、転移性がんは含みません。

国の健康増進事業報告においても、今年度より転移性がんを計上しないよう明記されることに併せての変更となります。

Q6：胃がん検診の要精検者から食道がんが発見されました。“がんであった者”に計上しても良いですか？

A：胃がん検診においては、胃がんであった者のみを計上してください。

Q7：2 年連続受診者を把握できていません。結果入力シートはどのように記入したら良いですか？

A：“2 年連続受診者数”の欄には「未把握」と記入してください。

なお、その場合には受診率は参考値扱いとなります。

